

雪印が
お奨めする 育成選抜品種の解説

かんらん(札幌大球)

(一) 育成選抜の目的

北海道で秋の漬物、貯蔵用のかんらんとして最も多く作られているのが一般に札幌大球と呼ばれている品種である。札幌大球は欧米のレートフラットダッチ、ダニツン

札幌大球かんらん



ニポールヘッドに由来するといわれ、栽培法、気候に順応して多くの系統が生まれ、大玉のものは八ギをこえるものもあり、又土質を選ばなければ病気に弱い系統もある。しかし多くは結球性、外葉の形状について混系のもが多かった。そこで四ギ内外の大きさで一五〇日内外結球の作り易い、どこでも結球確実な系統の育成を目的に本種を選抜した。

(二) 育成選抜の経過

在来種の分系から始めて目的とする大きさ、結球日数に近い系統を選抜し、もつばら、結球性、耐病性を

第一に母系選抜によって育成したのが本種である。

(三) 特性概要(表参照)

本種は外葉濃緑で蠟粉多く、葉縁にゆるやかな波状がある程度で皺は少ない。外葉は極めて丈夫で展開し、結球が始まる頃からわずかに立ち、茎は短い。結球は外葉より稍淡色でよくしまり、一個三〜四ギの大きさとなり、腰高の扁円球で揃いが良い。結球日数一五〇日前後で結球後の破、裂球は比較的早い。

(四) 栽培利用上の注意

札幌大球中稍早生なので、播種期が早いと利用期にいたらないうちに裂球、破球を見る。晩秋収穫のためには五月中下旬が播種適期で、貯蔵用にはなるべく晩播とする。本種は耐病性もあるが、他の秋採り品種と同様に、結球に入る八月に例年降雨多く、生育不良になるので、元肥を充分施すことはもちろん追肥も加里を主体に窒素を加え二度に分けて施し、常に健全な発育を促すことが大切である。

札幌大球及育成系統特性調査概要

| 品 種 | 結球日数 | 葉 色 | 皺 | 外葉重 | 結球重 | 球 高 | 球 径 | 球高/球径 | 球径/球重 |
|------|------|-----|----|------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 札幌大球 | 一五〇日 | 濃 緑 | 少 | 一七五g | 三、三〇g | 一、一〇寸 | 二、四〇寸 | 二、一六 | 六、七 |
| 育成五〇 | 一五〇 | 濃青緑 | 多 | 二二三 | 五、四〇 | 一、九四 | 三、一 | 一、五九 | 六、七 |
| 育成五一 | 一六〇 | 濃青緑 | 特多 | 一、三六 | 三、七六 | 一、六五 | 二、六九 | 一、六二 | 六、七 |
| 育成五二 | 一六〇 | 濃青緑 | 稍少 | 一、三三 | 四、一五 | 一、六三 | 二、六八 | 一、六二 | 六、七 |